

【件名】 東京科学大学等との産学公連携による共同研究の取組状況について

【要旨】（目的・内容・対象・時期・今後の方向等）

令和7年度から令和10年度までの予定で実施している国立大学法人東京科学大学、株式会社D-attendおよび中野区の3者による中野区をフィールドとした共同研究の取組状況について報告する。

## 1 令和7年度における共同研究の状況

### (1) 共同研究の概要

地域共通カード「粹っとパス」で、高齢者の地域コミュニティへの人流を作るとともに、地域コミュニティをはじめとした様々な日常の接点で高齢者の参加歴・生活歴を「生活カルテ」として縦断的に記録し、適切な資源へと繋げる。

### (2) 区民等の参加状況(令和7年12月31日現在)

- ・参加コミュニティ数 30団体
- ・登録者数 615名

### (3) 登録カードの利用状況

登録した高齢者等の約90%がコミュニティへの参加時にカードを持参して登録している。登録時に体調を入力するため、体調の変化や出欠状況を記録することができ、データベースとなっている。また、カード取得をきっかけに複数の場所に参加する利用者も見られるようになった。

## 2 令和8年度に予定している取組

### (1) 健幸プラザ、地域コミュニティへの展開拡充

- ・健幸プラザ 4館(予定)
- ・コミュニティ 25団体(予定)

### (2) 支援機関との連携

異変を発見した際の支援機関(すこやか福祉センター、地域包括支援センター等)との連携方法の検討、試行